

「アスリートイメージ評価調査」2019年3月調査
～総合ランキングに羽生結弦、イチロー、大谷翔平。
「勢いを感じる」には紀平梨花、張本智和、大坂なおみがランクイン～

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング（本社：東京都港区 社長：岩佐克俊）は、株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区 社長：矢嶋弘毅 以下博報堂D Yメディアパートナーズ）、データスタジアム株式会社（本社：東京都港区 社長：加藤善彦）と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2019年3月調査を行いました。

■ 調査結果 ■

アスリートイメージ総合ランキングは、1位：羽生結弦（フィギュアスケート） 2位：イチロー（野球） 3位：大谷翔平（野球） 4位：大坂なおみ（テニス） 5位：錦織圭（テニス）となりました。1位となった羽生選手は昨年11月に負傷して以来欠場を続けており、本調査を行った期間も怪我からの回復に努めていましたが、その後世界選手権に出場、2位という結果を残しました。総合ランキングの2位に入ったのは、日本でのMLB開幕戦の後に引退を表明したイチロー選手でした。「生き方や発言に共感できる」アスリートとして過去10年のうち9年で1位となるなど、このアスリートイメージ評価調査においても多くの項目で、長きに渡ってランクインしてきたイチロー選手ですが、今後の動向にも注目が集まります。

「勢いを感じる」アスリートの項目のランキングは、1位：紀平梨花（フィギュアスケート） 2位：張本智和（卓球） 3位：大坂なおみ（テニス） 4位：堂安律（サッカー） 5位：小林陵侖（スキー・ジャンプ）となりました。フィギュア四大陸選手権で優勝した紀平選手、ジャパントップ12卓球大会で優勝した張本選手、そしてテニス全豪オープンで優勝した大坂選手と、それぞれの競技で結果を残した若い選手が如実に上位に現れる結果となっています。

「リーダーシップがある」アスリートのランキングは、1位：長谷部誠（サッカー） 2位：リーチ マイケル（ラグビー） 3位：稲葉篤紀（野球） 4位：原辰徳（野球） 5位：本田圭佑（サッカー）となりました。ドイツのブンデスリーガで長く活躍する長谷部選手のリーダーシップはこれまでの調査でも度々ランクインしていますが、所属するフランクフルトが年明け以降13戦無敗と「キャリア最高のシーズンを送っている」との報道もある中、改めてその存在感が広く認知されていることをうかがわせる結果となりました。

「アスリートイメージ評価調査」はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、調査対象としたアスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂D Yメディアパートナーズグループでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング 経営計画・管理部 酒井 03-6441-7990

■ アスリートイメージ総合ランキング

1位：羽生結弦（フィギュアスケート） 2位：イチロー（野球） 3位：大谷翔平（野球）
4位：大坂なおみ（テニス） 5位：錦織圭（テニス） 6位：長谷部誠（サッカー）
7位：紀平梨花（フィギュアスケート） 8位：リオネル・メッシ（サッカー） 9位：本田圭佑（サッカー）
10位：宇野昌磨（フィギュアスケート）

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング

・「知性的な」アスリート

1位：イチロー（野球）
2位：長谷部誠（サッカー）
3位：羽生結弦（フィギュアスケート）
4位：小平奈緒（スピードスケート）
5位：中島翔哉（サッカー）

・「親しみやすい」アスリート

1位：大坂なおみ（テニス）
2位：伊藤美誠（卓球）
3位：福土加代子（マラソン）
4位：石川佳純（卓球）
5位：大谷翔平（野球）

・「爽やかな」アスリート

1位：羽生結弦（フィギュアスケート）
2位：中島翔哉（サッカー）
3位：大谷翔平（野球）
3位：南野拓実（サッカー）
5位：堂安律（サッカー）

・「パワフルな」アスリート

1位：リーチ マイケル（ラグビー）
2位：白鵬（大相撲）
3位：貴景勝（大相撲）
4位：大坂なおみ（テニス）
5位：伊調馨（レスリング）

・「リーダーシップがある」アスリート

1位：長谷部誠（サッカー）
2位：リーチ マイケル（ラグビー）
3位：稲葉篤紀（野球）
4位：原辰徳（野球）
5位：本田圭佑（サッカー）

・「生き方や発言に共感できる」アスリート

1位：イチロー（野球）
2位：長谷部誠（サッカー）
3位：大谷翔平（野球）
4位：大坂なおみ（テニス）
5位：羽生結弦（フィギュアスケート）

・「常にチャレンジ精神を持ち続けている」アスリート

1位：イチロー（野球）
2位：羽生結弦（フィギュアスケート）
3位：大谷翔平（野球）
4位：小林陵侖（スキー・ジャンプ）
5位：本田圭佑（サッカー）

・「勢を感じる」アスリート

1位：紀平梨花（フィギュアスケート）
2位：張本智和（卓球）
3位：大坂なおみ（テニス）
4位：堂安律（サッカー）
5位：小林陵侖（スキー・ジャンプ）

■ 調査概要 ■

- ・調査方法：Web 調査
- ・調査地区：首都圏＋京阪神圏
（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）
- ・調査対象者：対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数：600サンプル
- ・調査期間：2019年3月7日～3月13日